

事務事業名	市道竜宮線改良事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	工務グループ	課長名	森田 一
施策名	(07) 道路網の整備	担当者名	高橋 健	電話番号 (内線)	0854-40-1063 3740
基本事業名	(018) 生活道路の新設・整備	予算科目	会計 01 4 0 1 0 1 5 1 1 款 項 目 中事業	市道道路整備事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22年度～24年度)	市道竜宮線は、一般県道吉田三刀屋線と吉田町川尻地区を結ぶ路線です。しかし、幅員は3m～4mと普通車のすれ違いや緊急車両・大型車両がスムーズに通行できません。そのため幅員を5mに拡幅し、交通の利便性を向上させる事業です。 <small>(市道改良全体の手順)</small> ①住民からの道路改良要望②事業決定③地元への事業決定周知④道路詳細設計、用地、補償調査委託に並行して地域住民との道路計画及び用地・補償に関する協議・交渉⑤実施設計を行い工事発注し単年度事業内容地元代表者への説明⑥現場管理⑦年度事業竣工 初年度以降は、⑤からの繰り返し(事業規模により④以降もあり)	・地域要望により、平成22年に開始した。 ・国の経済対策事業として取り組んでいる。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	③ 事業費の内訳(詳細)																																																																																								
・用地補償 2,718千円(H22繰越) ・道路改良 47,281千円(H22繰越) 合計 49,999千円(全額H22繰越)	①測量設計業務を実施し、線形等を決定する。 ②地権者及び地元関係者と協議し、用地幅等を決定する。 ③地権者と交渉し用地買収を実施する。	<table border="1"> <tr> <th>事業費</th> <th>単位</th> <th>21年度(決算)</th> <th>22年度(決算)</th> <th>23年度(決算)</th> <th>24年度(計画)</th> <th>25年度(計画)</th> <th>全体計画</th> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td>52,666</td> <td>41,000</td> <td></td> <td></td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>8,999</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>52,666</td> <td>49,999</td> <td>20,000</td> <td>0</td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>2,333</td> <td>2,365</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>54,999</td> <td>52,364</td> <td>20,000</td> <td>0</td> <td>152,333</td> </tr> </table>	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画	国庫支出金	千円		52,666	41,000			150,000	県支出金	千円							地方債	千円				20,000			その他	千円							一般財源	千円			8,999				事業費計(A)	千円	0	52,666	49,999	20,000	0	150,000	正規職員従事人数	人		2	2	2			延べ業務時間	時間		600	600	600			人件費計(B)	千円	0	2,333	2,365	0	0		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	54,999	52,364	20,000	0	152,333
事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画																																																																																			
国庫支出金	千円		52,666	41,000			150,000																																																																																			
県支出金	千円																																																																																									
地方債	千円				20,000																																																																																					
その他	千円																																																																																									
一般財源	千円			8,999																																																																																						
事業費計(A)	千円	0	52,666	49,999	20,000	0	150,000																																																																																			
正規職員従事人数	人		2	2	2																																																																																					
延べ業務時間	時間		600	600	600																																																																																					
人件費計(B)	千円	0	2,333	2,365	0	0																																																																																				
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	54,999	52,364	20,000	0	152,333																																																																																			

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標																																															
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・用地補償 2,718千円(H22繰越) ・道路改良 47,281千円(H22繰越) (H22繰越額合計 49,999千円) 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 道路改良・舗装	<table border="1"> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(目標)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>最終(目標)</th> </tr> <tr> <td>ア 暫定改良延長</td> <td>m</td> <td></td> <td>386</td> <td>386</td> <td>386</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ 供用開始延長</td> <td>m</td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> <td>386</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)	ア 暫定改良延長	m		386	386	386			イ 供用開始延長	m		0	100	386			ウ								エ								オ						
指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)																																										
ア 暫定改良延長	m		386	386	386																																												
イ 供用開始延長	m		0	100	386																																												
ウ																																																	
エ																																																	
オ																																																	

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標																															
	市民 道路利用者 家屋 8戸 集会所1	<table border="1"> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(目標)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>最終(目標)</th> </tr> <tr> <td>ア 人口</td> <td>人</td> <td></td> <td>41917</td> <td>41159</td> <td>41032</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)	ア 人口	人		41917	41159	41032			イ														
指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)																										
ア 人口	人		41917	41159	41032																												
イ																																	
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標																															
	安全にすれ違いができ、スムーズに通行できるようにする。	<table border="1"> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(目標)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>最終(目標)</th> </tr> <tr> <td>ア 改良済延長</td> <td>m</td> <td></td> <td>0</td> <td>386</td> <td>386</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ 供用済延長</td> <td>m</td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> <td>386</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)	ア 改良済延長	m		0	386	386			イ 供用済延長	m		0	100	386			ウ						
指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)																										
ア 改良済延長	m		0	386	386																												
イ 供用済延長	m		0	100	386																												
ウ																																	
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標																															
	安全で便利に通行できるようになる。 安全で利便性の高い道路交通網を整備する。	<table border="1"> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(目標)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>最終(目標)</th> </tr> <tr> <td>ア 市道改良率</td> <td>%</td> <td></td> <td>55.7</td> <td>55.9</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ 生活道路が安全で便利であると感じる割合</td> <td>%</td> <td></td> <td>57.1</td> <td>55.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)	ア 市道改良率	%		55.7	55.9				イ 生活道路が安全で便利であると感じる割合	%		57.1	55.7										
指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)																										
ア 市道改良率	%		55.7	55.9																													
イ 生活道路が安全で便利であると感じる割合	%		57.1	55.7																													

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・逐次改良が進んでおり、地域住民の利便性は向上している。 ・周辺道路の交通量は増加している。 ・高速道路の工事用道路として利用されることとなり、改良工事を実施することができない。	・地域住民等に、本事業への協力を要請することにより、事業の進捗がスムーズになるよう協力を要請している。	・地元より早期完了を求める声が出ている。 また、財政難から事業を休止されては困るという懸念が地元住民にある。

事務事業名	市道竜宮線改良事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ すれ違いが円滑になるということは、安全で利便性の高い道路の整備につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 道路認定されており公共で整備すべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を拡大し、地域住民の利便性をより図るのであれば、コストが非常に増大する。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 工事終点には、国指定重要文化財が存在しており、開発の許可が得られないことから成果を向上させることはできない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 現況は、道路幅員が狭く安全性の確保が困難である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 平成21年度より期間限定で実施された、国の経済対策事業として取り組んでいるため、これ以上有利な財源はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ コスト節減に努めておりこれ以上の事業費削減はできない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・用地買収、補償等完了している。 ・工事説明該当者が少数である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市道認定されている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・平成21年度繰越予算であるため予算措置が非常に困難である。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
・予算措置を行うとともに各事業者と連携をとる。																						